

静岡教弘だより



夏 2025 NO.159

「瞳」 静岡県立駿河総合高等学校 2年(令和6年度) 大石 悠月
猫の柔らかな毛並みや美しい瞳、自由気ままな姿にとても魅力を感じます。特にふとした時の表情は独特な魅力があり、惹きつけられます。本作では、そんな愛らしい猫の姿を愛情込めて画面いっぱいに描きました。🐾

静岡教弘教育研究実践論文募集のお知らせ
令和6年度事業報告・令和7年度事業計画
静岡教弘リタイアメントライフプランニングセミナー開催のお知らせ
元気発信局 河津町立河津小学校

静岡支部 HP
からもご覧
いただけます。



編集/公益財団法人日本教育公務員弘済会静岡支部 発行/株式会社静岡教弘 印刷/株式会社篠原印刷所

静岡市葵区駿府町1-12 静岡県教育会館4F TEL 054-205-5130
環境保全のため再生紙及び大豆インキを使用しています。

2025年7月1日発行

最終受益者は子どもたち～明日を担う子どもたちのために～

公益財団法人日本教育公務員弘済会静岡支部
支部長 下橋 一徳

桜の花に彩られながらスタートした令和 7 年度も早3か月が過ぎ、朝顔やヒマワリの季節となりました。当支部も 6 月 26 日に開催されました幹事会・運営委員会において、令和7年度役員が選出され、組織が確立しました。また、令和6年度事業報告も承認されました。内閣府による公益財団法人の認定には、助成対象者から成果報告を得る必要があります。各学校・園や団体等の皆様にはお手数をおかけしておりますが、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

【令和6年度助成金成果報告書・奨学生学習成果報告書より】（一部抜粋）

- ・ 県の指定と静岡教弘からの助成金という機会を得たため、6年生の子どもたちと一緒に「学校を楽しくしようプロジェクト」を立ち上げた。（イメージキャラクター作り等）
- ・ 地域とのつながりを深める手段の一つとして、「『きらめきカレンダー』」を制作して地域に配ろう！」プロジェクトを進めた。
- ・ 学んだ内容を演劇として形作ることで、知識を深め、協働する姿勢を育てる取組を行った。衣装や舞台装置を作成する教材費として活用させていただいた。
- ・ 老朽化した更衣室を改善しようと、生徒が主体となりプロジェクトを立ち上げ取り組んだ。
- ・ 統合初年度、魅力ある学校づくりの一つとして体験活動を重視し、計画以上の活動ができました。
- ・ 今後も奨学金の支援に感謝し、努力を重ね、社会に貢献できる人材となり、恩返しができるよう努めてまいります。
- ・ 奨学金のお陰で金銭面で安心して学ぶことができ、とても感謝しています。私も困っている人をサポートできる人物になりたいと思っています。
- ・ 静岡教弘奨学金制度のおかげで、応援してくれている方々がいると知ったことで安心感が得られ、これからもがんばっていこうと思えるようになりました。

報告書には、子どもたちの活動や先生方の研修の成果と共に、多数の感謝の言葉も添えられており、私たち、静岡教弘役員・職員やジブラルタ生命社員のやりがいに繋がっております。そうした喜びを感じる中、子どもたちの感謝の言葉にはっとさせられました。「社会に貢献できる人材」「困っている人をサポートできる人物」「応援してくれている方々」とは、私たち役員や職員・社員のことではありません。静岡教弘がこうした事業を進められているのは、教弘保険加入者である会員の皆様のお力のおかげであることを改めて感じました。歳を重ねても、子どもの言葉から感じさせられ、教えられることがたくさんあります。

「最終受益者は子どもたち」、この言葉を大切に、教弘会員の皆様のお力を借りながら、学校・教職員・子どもたちのために尽力してまいります。皆様のより一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

学校・園に元気を！子どもたちに笑顔を！教育関係者の皆様に笑顔と安心を！

国公立幼稚園・こども園に
チューリップ球根を
1園100球贈呈!!



毎年、球根を見て、「これ、なあに？」
「玉ねぎみたい！」「ピクミンみたい！」
など、楽しい会話を報告していただいています。

昨年度も、また、さらにステキな言葉が届きました。

「早く出ておいで。」

虹色になるといいな！」

🌷 富士市立富士川第一幼稚園

今年度も
申込受付は
8月末日
です！



令和7年度 運営委員会 開催

令和7年6月26日に令和7年度第3回静岡教弘幹事会が開催され、令和6年度の事業・決算報告の承認、運営委員の選出と委嘱がされました。また、第1回運営委員会では、令和7年度の幹事及び監査が選任されました。

なお、令和7年度の事業計画・予算は、令和6年度第7回静岡教弘幹事会において既に決定し、これに基づいて事業を進めております。詳しくは、本号3・4ページをご覧ください。



支部長 下橋一徳



副支部長 中川 恵



副支部長 織田 敦



副支部長 赤池浩章



常任幹事 仁科 聡



幹事 川島広己



幹事 神谷 昇



幹事 小関雅司



監査 松井 剛



監査 古知 聡

役員	職名	氏名	現職名
	支部長	下橋一徳	
	副支部長	中川 恵	静岡県校長会会長
		織田 敦	静岡県高等学校長協会会長
赤池浩章		静岡県教職員組合中央執行委員長	
常任幹事	仁科 聡		
幹事	川島広己	静岡県教職員互助組合理事長	
	神谷 昇	静岡県教職員生活協同組合理事長	
	小関雅司	島田樟誠高等学校校長	
監査	松井 剛	静岡県公立小中学校事務職員会会長	
	古知 聡	静岡県公立高等学校事務職員協会会長	
運営委員	所属	氏名	現職名
	静岡県校長会	山本吉則	熱海市立泉小中学校校長
		藤原かおり	伊豆の国市立長岡中学校校長
		藁科彰良	静岡市立大里中学校校長
		杉本好基	藤枝市立藤枝小学校校長
		櫻井真弓	牧之原市立相良小学校校長
		相曾智司	森町立飯田小学校校長
		小山貴広	浜松市立葵が丘小学校校長
		藤井英樹	湖西市立岡崎中学校校長
	静岡県高等学校長協会	櫻井教文	県立小山高等学校校長
		井島秀樹	県立清水東高等学校校長
		松場 勉	県立静岡西高等学校校長
		磯部正之	県立磐田農業高等学校校長
	静岡県教育諸団体	高橋和彦	県特別支援学校長会会長・県立中央特別支援学校校長
		向島恵子	県公立小中学校教頭会会長・静岡市立西豊田小学校教頭
		佐野仁彦	県高等学校等副校長・教頭会常任理事・庶務理事・静岡市立高等学校副校長
		山下英美	県公立小中学校事務職員会副会長・島田市立島田第四小学校統括室長
		佐藤恭子	県公立高等学校事務職員協会副会長・県立浜松北高等学校事務長
		鈴木矢々	浜松市立幼稚園長会常任理事・副会長・浜松市立笠井幼稚園園長
	松永幸伸	県私学協会事務局次長	
静岡県教職員組合	野村昌宏	書記長	
	野村亜希	中央執行委員	
	山田佳奈	中央執行委員	
	鈴木克幸	中央執行委員	
	伊藤智尚	静清教組執行委員長	
	高橋雪山	東豆支部長	
	池田 廉	駿東支部長	
	下山祐二	田方支部長	
	山口純伸	志太支部長	
	山下賢吾	榛原支部長	
	鷲山智久	小笠支部長	
	山村恵美子	養護教員部	

「静岡教弘だより」の編集にあたりましては、運営委員全員がモニターとして意見や感想等を報告し、編集委員会で、その内容を反映させた原稿づくりを行っています。

今後も紙面の充実を図り、情報を発信してまいります。

令和6年度事業報告・令和7年度事業計画

● 教育振興事業は、教育振興事業選考委員会の選考後、幹事会の議を経て、支部長が決定します。

教育振興事業	令和6年度 事業報告	令和7年度 事業計画																																		
I 奨学事業																																				
●奨学金の貸与	最高100万円・無利息 45件総額3,925万円 令和7年3月31日現在残高422件 276,596,830円	最高100万円・無利息 60件程度5,800万円 令和8年2月2日より申し込み受付予定																																		
●奨学金の給付	公立高校長、私立高校長、特別支援学校長、県高校長協会、県私学協会、県特別支援学校長会の推薦に基づき、公立高校、私立高校、国立・公立特別支援学校高等部在学中の生徒を対象に、全日制7万円、定時制・通信制3万円、特別支援学校3万円を給付																																			
1 高等学校等 給付奨学生	全日制196人 定時制・通信制75人 特別支援学校高等部35人 総額17,020,000円	全日制197人 定時制・通信制76人 特別支援学校高等部35人 総額1,712万円																																		
2 大学給付 奨学生(予約型)	修学意欲がありながら学資金の支払いが困難と認められる4年制大学生に対し、奨学金月額3万円を4年間給付する事業を、高等学校・特別支援学校高等部最終学年在籍者を対象に当年度奨学生を前年度に6人募集 合計18人 内12人給付中	合計24人 内令和6年度12人給付中 令和7年度より6人給付開始																																		
II 教育研究助成事業																																				
●研究助成金の贈呈	県教育委員会、静岡市・浜松市教育委員会、県校長会、県高校長協会、県特別支援学校長会、県私学協会、県教職員組合、静岡教弘参事会の推薦に基づき、地域との連携や特色ある教育研究活動の実践を推進し、実績を上げている学校、団体等に対し、1件10万円を贈呈																																			
1 静岡教弘 教育活動助成金	237件 総額2,370万円	238件 総額2,380万円																																		
2 静岡教弘 研修補助金	県教育委員会、県校長会、県高校長協会、県特別支援学校長会、浜松市立幼稚園長会、県私学協会、静岡教弘参事会の推薦に基づき、校内研修における講師の招請、または、校外研修にかかる旅費等に対し1件10万円を贈呈																																			
	103件 総額1,030万円	104件 総額1,040万円																																		
3 静岡教弘 教育研究実践 論文助成金	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">学校部門</th> <th colspan="2">個人・グループ部門</th> <th rowspan="2">令和7年度 奨励編数 (両部門合わせて)</th> </tr> <tr> <th>奨励金額</th> <th>令和6年度 実績</th> <th>奨励金額</th> <th>令和6年度 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>静岡教弘最優秀賞</td> <td>60万円</td> <td>1編</td> <td>30万円</td> <td>1編</td> <td>2編(各1編)</td> </tr> <tr> <td>静岡教弘優秀賞</td> <td>30万円</td> <td>2編</td> <td>10万円</td> <td>3編</td> <td>5編</td> </tr> <tr> <td>静岡教弘優良賞</td> <td>10万円</td> <td>5編</td> <td>5万円</td> <td>15編</td> <td>20編程度</td> </tr> <tr> <td>静岡教弘奨励賞</td> <td>3万円</td> <td>33編</td> <td>1万円</td> <td>82編</td> <td>上記以外の全ての論文</td> </tr> </tbody> </table>			学校部門		個人・グループ部門		令和7年度 奨励編数 (両部門合わせて)	奨励金額	令和6年度 実績	奨励金額	令和6年度 実績	静岡教弘最優秀賞	60万円	1編	30万円	1編	2編(各1編)	静岡教弘優秀賞	30万円	2編	10万円	3編	5編	静岡教弘優良賞	10万円	5編	5万円	15編	20編程度	静岡教弘奨励賞	3万円	33編	1万円	82編	上記以外の全ての論文
	学校部門			個人・グループ部門		令和7年度 奨励編数 (両部門合わせて)																														
	奨励金額	令和6年度 実績	奨励金額	令和6年度 実績																																
静岡教弘最優秀賞	60万円	1編	30万円	1編	2編(各1編)																															
静岡教弘優秀賞	30万円	2編	10万円	3編	5編																															
静岡教弘優良賞	10万円	5編	5万円	15編	20編程度																															
静岡教弘奨励賞	3万円	33編	1万円	82編	上記以外の全ての論文																															
	静岡教弘助成金総額486万円 日教弘教育賞総額100万円・優秀賞1編、優良賞2編受賞	静岡教弘助成金総額500万円・日教弘教育賞3編推薦予定																																		
4 静岡教弘 教育研究団体 助成金	県校長会研究会、県高校長協会研究会、県教職員組合教育研究集会、県公立小中学校教頭会研究会、県高等学校等副校長・教頭会研究会、県公立高等学校事務職員協会研究会、県教職員組合養護教員部研修会、県小中学校養護教諭研究会、県高等学校養護教育研究会、県教職員組合立教育研究所、県特別支援学校長会研究会、県公立小中学校事務職員会研究会、東部公立小中学校事務研究会、静西地区公立小中学校事務研究会、静岡市公立小中学校事務職員会研究会、浜松市公立小中学校事務研究協議会、県私学協会研究会、県教育研究会、浜松市教育研究会 (令和7年度は県教職員組合立教育研究所閉鎖により対象外)																																			
	総額475万円	総額425万円																																		
5 静岡教弘 全国レベルの 研究大会助成金	① 全国高等学校長協会家庭部会第132回研究協議会(秋季静岡大会) ② 令和6年度東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会 ③ 東海地方公立高等学校事務職員研究協議会 令和6年度総会・研究大会 ④ 令和6年度東海地区総合学科高等学校長協会総会及び第1回・第2回研究協議会、第25回東海地区高等学校総合学科教育研究大会 ⑤ 令和6年度東海工業化学教育研究会第57回総会・研究大会	① 第79回指定都市小学校長会研究協議会 静岡大会 ② 第11回全国小学校キャリア教育研究協議会静岡大会 ③ 第42回東海地区学校図書館研究大会(静岡大会) ④ 第80回関東甲信静数学教育研究静岡(富士)大会 ⑤ 第18回東海ブロック国際理解教育研究大会 ⑥ 令和7年度東海四県高等学校長連絡協議会総会 ⑦ 令和7年度全国高等学校長協会家庭部会東海地区連絡・研究協議会 ⑧ 令和7年度第53回全国理数科教育研究大会(静岡大会) ⑨ 令和7年度東海地区総合学科高等学校長協会第1回・第2回研究協議会、第26回東海地区高等学校総合学科教育研究大会 ⑩ 令和7年度第77回中部地区高等学校通信制教育研究会総会・研究協議会静岡大会 ⑪ 令和7年度東海地区工業高等学校長教育研究会 総会・研究協議会																																		
	総額39万円	総額70万円																																		
III 教育文化事業																																				
●地域教育振興への助成	退職校長親和会の地域教育振興事業へ30万円を、地域と連携した教育文化活動を継続的に推進し、実績を上げている学校、教育団体等に総額40万円を助成																																			
●PTAの活動への助成	県校長会・県高校長協会と協議し、幼児・児童・生徒の健全な育成を目的とした県P連のすぐれたPTA活動や、高P連の主催する講演会等に100万円を助成																																			
●教育文化講演会への助成	教育講演会の主催団体として、県下14会場で専門家、著名人を招いて地域社会の文化の向上、教職員の知識と教養の向上のための講演会を開催し、総額60万円を助成																																			
	お問い合わせ 教育講演会・・・ 静岡県教育会館事務局 TEL 054-252-1011																																			

福祉事業		令和6年度 事業報告		令和7年度 事業計画			
●祝金・記念品の贈呈	祝金・記念品	贈呈額	令和6年度	令和7年度			
	結婚祝金	1万円	154人	200人			
	誕生祝金	1万円	348人	295人			
	30歳誕生日記念品	カタログギフト (5千円相当)	286人	260人			
	40歳誕生日記念品		237人	180人			
	50歳誕生日記念品		217人	190人			
	60歳誕生日記念品		412人	380人			
	健康増進補助(59歳対象)	フットピロー	344人	340人			
●宿泊補助 変更しました！	宿泊施設	令和6年度		令和7年度			
		補助金額 (1泊につき)	年間限度 泊数	利用者	補助金額 (1泊につき)	年間限度 泊数	
		日教弘指定宿泊施設 東京都内	4千円	合計3泊	65人	2千円	7泊
		日教弘指定宿泊施設 その他	3千円		133人		
静岡教弘提携ホテル	4千円	合計4泊	524人				
<small>日教弘指定宿泊施設 教弘関連宿泊施設・東急ホテルズ・阪急阪神第一ホテルグループ・リーガロイヤルホテルグループ 静岡教弘提携ホテル 伊東園ホテルグループ・ホテル鞠水亭・ホテルウェルシーズン浜名湖・ホテルコンコルド浜松・ ホテルアンピア松風閣</small>							
●教弘友の会 変更しました！	事業	内容等	令和6年度		令和7年度		
	友の会だよりの発行	4,600部	年1回発行	会員数4,099人	年1回発行		
	人間ドック受診補助金	61~67歳対象	1万円	844人	5千円		
	余暇活動補助(図書カード)	61歳対象	3千円	45人	3千円		
	損害保険「教弘フルガード」 〔団体総合生活保険〕の案内	<small>傷害事故・賠償事故・携行品損害・救援者費用損害を補償する「教弘フルガード」 〔団体総合生活保険〕の広報、参事によるパンフレット配布により加入推進</small>					
●静岡教弘だより発行	年4回						
●静岡教弘 リタイアメントライフ プランニングセミナー	令和6年度に60歳・61歳を迎えた教弘会員をはじめ希望者等も対象にリタイアメントライフを充実させるためのプランニングに関するセミナーを県下6会場で開催		令和7年度に60歳・61歳を迎える教弘会員をはじめ希望者等も対象にリタイアメントライフを充実させるためのプランニングに関するセミナーを県下6会場で開催(日程等はP6参照)				
●損害保険	東京海上日動火災保険株式会社と提携し、団体総合生活保険「教職員収入ロングウェイサポート」の普及・拡大のため、広報チラシの送付						
	募集期間 令和6年6月1日~令和7年6月20日 中途加入の補償期間 加入依頼日の属する月の 翌月1日午前0時~令和7年8月1日午後4時	募集期間 令和7年6月1日~令和8年6月20日 中途加入の補償期間 加入依頼日の属する月の 翌月1日午前0時~令和8年8月1日午後4時					
共済事業 提携保険事業	令和6年度 事業報告		令和7年度 事業計画				
●生命保険	日教弘会員である教育関係者のための共済制度として、ジブラルタ生命保険株式会社と提携し、互助の精神を基盤に、集団契約特約を付加した割安な保険料で大きな保障が得られる教育関係者だけが加入できる「教弘保険」の普及・拡大						

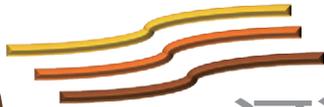
申請が必要ですよ!!
締切期限注意!!

7つの 福・社・事・業

結婚	結婚祝金
お子様の誕生	誕生祝金
指定施設の宿泊	宿泊補助
61歳(友の会)	余暇活動補助
61~67歳(友の会)	人間ドック受診補助金
59歳	健康増進補助
30・40・50・60歳	30・40・50・60歳誕生日記念品

- ♥ 福祉事業の「祝金・記念品の贈呈」は、それぞれ、教弘保険への継続加入条件等に該当している方が対象となります。
- ♥ 各種申請書のご請求、ご不明な点等がございましたら、静岡教弘事務局(054-205-5130)またはジブラルタ生命学校担当者にお問い合わせください。
- ♥ 各種申請書は、下記 URL(日教弘静岡支部HP)からもダウンロードできます。
<https://www.nikkyoko.or.jp/company/shizuoka/dl.html>
- ♥ 「30・40・50・60歳誕生日記念品」は、カタログギフト(5,000円相当)です。お楽しみに!

6月20日に「静岡教弘教育活動助成金」238件と「静岡教弘研修補助金」104件が贈呈校(園)に決定しました。7月中旬から、該当校(園)にお伺いして、教育活動助成金と研修補助金の贈呈式を行います。



河津町立 河津小学校

かわづちょうりつ
かわづしょうがっこう



学校教育目標

「自ら考え行動し、共にのびる子」

重点目標

「考えよう！ やってみよう！ 続けよう！」

河津小学校は、令和5年4月に南小学校、東小学校、西小学校の3校が統合し、本年度で開校3年目になりました。学校近くの河津川沿いには、有名な河津桜の並木があり、毎年2月に開催される『河津桜祭り』では、全国から多くの観光客が訪れ賑わいを見せています。町内に1つずつある幼稚園、小学校、中学校が連携を図ると共に、学校教育に関心の高い地域・保護者の方々の温かい協力をいただきながら、やさしさと笑顔にあふれ、自他共にのびる学校を目指しています。

子供同士の かかわりで のびる

河津小には4色の縦割り班があり、リーダーを中心に遠足や運動会や縦割り遊びなどの行事に取り組んでいます。活動の中で、上級生が下級生に優しくかかわる姿がたくさん見られ、その姿が伝統として受け継がれています。また、学級ごとに創意工夫した出し物を互いに楽しむ『河小フェス』もあります。楽しい遊びにしようと考えを出し合ったり協力して準備を進めたりする活動が、みんなで創り上げる喜びにつながっています。

姉妹都市である長野県白馬村の児童との交流会も子供たちの楽しみにもなっています。



【写真 上より】 春の遠足
河小フェス
白馬交流

幼小中の 連携で のびる

隣接する町立幼稚園と合同の地震津波避難訓練を行っています。小学生と幼稚園児と一緒に小学校の屋上に避難し、自分の命を守るための行動を身に付けています。新入生の体験では、1年生と5年生が校内を案内したり学校の様子を教えたりしています。このような活動を通して自然に小さい子を思いやる心が育まれています。今年度はより幼小中の連携を密にするために先生方の顔合わせ会も行いました。

【写真 上より】 幼小合同避難訓練
新入生体験入学
幼小中顔合わせ



地域との かかわりで のびる

地域の豊かな自然や名産を生かして、自然体験や社会体験を教育活動に取り入れています。毎年行われている鮎の放流や梅採り体験では自然の恵みや命の大切さを学んでいます。高学年では、総合的な学習や社会科でテーマに合わせて調査活動を行い、地域のよさの発見につながっています。

【写真右】 鮎の放流(1・2年)
【写真下左より】 梅採り体験(3年) カーネーション農家見学(5年)



〒413-0512 賀茂郡河津町笹原 328-1



0558-34-0090

静岡教弘リタイアメントライフプランニングセミナーのお知らせ

**教育関係者の方は
どなたでも参加できます！**

今年度末をもってご退職されます会員の皆さまをはじめ、教育関係者の方はどなたでも参加いただけるリタイアメントライフのプランニングに役立つセミナーを開催いたします。

今年度 61 歳と 60 歳を迎えられる教弘会員の皆さまには 10 月にセミナーの案内を発送いたしますので、ぜひお早めにお申し込みください。

地区	開催日	曜	時間	会場
東部	11月15日	土	10:00	田方教育会館
	11月22日	土	10:00	ふじさんメッセ
	1月24日	土	10:00	プラサヴェルデ(予定)
中部	1月17日	土	10:00	静岡県教育会館
西部	11月15日	土	10:00	総合教育センター(予定)
	12月13日	土	10:00	浜松市教育会館

詳細は、「静岡教弘だより No.160 秋号」(10月1日発行予定)に掲載いたします。

リタイアメントライフのプランニングに役立つ情報をお届け！

日教弘サポート
会員募集中!!

日教弘の趣旨(教育の振興に寄与すること及び教職員の福祉向上を図ること)に賛同していただける全国の教育関係者ならどなたでも日教弘の会員になることができます。こちらの二次元コードまたは入会申込書にてご入会ください。入会された方には、日教弘会員証(「日教弘クラブオフ利用証」付帯)が発行され、福利厚生をサポートする『日教弘クラブオフ』の利用ができます。



保険こぼれ話

70年以上にわたってパートナーシップ関係にあるジブラルタ生命保険株式会社の学校担当者が皆さまの学校を訪問して静岡教弘事業のご案内と教弘保険のご提案をさせていただきます。



鉛筆の芯が折れる強さで書かれた先生からの言葉

共済事業(提携保険事業)提携会社
ジブラルタ生命保険株式会社
静岡支社 静岡第四営業所 所長 横田雄三

私がジブラルタ生命に入社して間もない頃、保険金支払い事例等を題材に生命保険の必要性を学ぶ研修がありました。しかし、頭では理解しても生命保険の必要性はなかなか腹には落ちませんでした。

入社して2年目、担当している中学校の先生から「教弘保険は掛け捨てだから解約したいんだよね」と相談を受けました。先生は45歳独身、いつもお元気で病気も今までほとんどしたことが無い先生でした。ご家族はお母様と妹さんの3人で、お母様は病気で家事等ができず、妹さんも障害があり働けない状態でした。ライフプランニングをして万が一の事があっても、ご家族が経済的に困る事がないようにと保険金額を決め、教弘保険にご加入いただきました。今回は、掛け捨ての保険より貯蓄できるほうが良いとの要望でしたが、担当者として家庭事情を理解していましたので、もう一度ご加入の経緯を思い出していただき、教弘保険を継続することになりました。

それから2年後、先生から喉頭癌の手術を受けることになったと連絡を受けました。それは、残念なことに声帯まで摘出する手術でした。手術は無事終わり一命はとりとめましたが、声帯を摘出したため、教弘保険より高度障害保険金をお支払いさせていただきました。高度障害保険金は死亡保険金と同じ金額を受け取ることができます。

今後の生活費も十分確保され、後日、先生との筆談で、「まさか自分が癌に罹患するとは考えもしなかった、これで安心して治療に専念でき、家族と安心して生活ができる！本当に本当にありがとう。」…鉛筆の芯が折れる強さで書かれたその言葉を、私は生涯忘れることはないと思います。

これからも生命保険会社の社員として、仕事に誇りとプライドを持ち、仲間のライフプランコンサルタントと共に生命保険を分かりやすく丁寧に伝えていきたいと思っています。

静岡教弘参事の つぶやき



ヒマはあっても…

東部地区担当 山梨隆史

趣味は魚釣りです。小学生からアジ釣りに夢中。持ち帰ると「海で親が泣いている」と笑いながらも、母は調理して食卓へ出してくれました。

鳴門の大学院に出向したときは筏のダンゴ釣りを経験。「年無し」と呼ばれる50cm超のチヌ(黒鯛)の魚拓は、今でも額に飾ってあります。

その後は遊漁船。春のマダイ、秋のワラサ釣りが好きです。釣れなくても竿先への集中は、悩みや不安などを忘れる貴重な時間。また、移動中に伊豆南端の地形を海から眺めることができ、道路からの入り口が離れている多々戸浜と入田浜が実は隣接しているという発見も驚きでした。

大シケの恐怖も経験しました。天候が急変し、見上げるような大波が巨大な壁のように見えました。「救命艇の少年」という教材がありましたが、「艇は六階七階と上がっていき…九階八階と下がっていきます(?)」みたいな叙述、(このことだったんだ!)とピーンと音を立ててつながりました。

生涯にわたる趣味も、実はコロナを機に疎遠に。「ヒマはあってもカネがない」学生時代から、「カネがあってもヒマがない」教員時代を耐え抜きバラ色のセカンドライフになるはずが、「ヒマもカネもあるが、キリョクがない」状態になるとは。動画配信サイトを見てばかりの日々を反省し、新たな挑戦をしていきたい！この暑い夏を過ぎればワラサの秋。久しぶりに船長へ電話してみようかな。

令和7年度静岡教弘教育研究実践論文募集のお知らせ

未発表でオリジナルな内容の教育研究実践論文を募集し、優れた論文を表彰します。その研究成果を広く県下の学校等に紹介し、静岡県教育の発展、向上に寄与します。

対象	【学校部門】 県内の国・公・私立の幼稚園・こども園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校 【個人・グループ部門】 上記の学校(園)や、県内の教育機関等に所属する教育関係者個人及びそれらの人々で組織する教育研究グループ																				
応募	事前に今年度(令和7年度)の「論文の書き方」「応募申請書」「推薦書(個人・グループのみ)」を当支部事務局または参事、共済事業(提携保険事業)提携保険会社ジブラルタ生命の学校担当者へご請求いただくか、下記URL(静岡支部HP)よりダウンロードしてお使いください。 https://www.nikkyoko.or.jp/company/shizuoka/dl.html																				
審査	静岡教弘教育研究実践論文審査会(第1次審査)で審査し、教育振興事業選考委員会(第2次審査)で選考後、幹事会の議を経て、支部長が受賞者を決定します。																				
表彰	12月中旬(予定)に表彰式を行い、下表の奨励金を贈呈し賞状を授与します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>学校部門</th> <th>個人・グループ部門</th> <th>奨励編数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>静岡教弘最優秀賞</td> <td>60万円</td> <td>30万円</td> <td>2編(各1編)</td> </tr> <tr> <td>静岡教弘優秀賞</td> <td>30万円</td> <td>10万円</td> <td>5編</td> </tr> <tr> <td>静岡教弘優良賞</td> <td>10万円</td> <td>5万円</td> <td>20編程度</td> </tr> <tr> <td>静岡教弘奨励賞</td> <td>3万円</td> <td>1万円</td> <td>上記以外の全ての論文</td> </tr> </tbody> </table>		学校部門	個人・グループ部門	奨励編数	静岡教弘最優秀賞	60万円	30万円	2編(各1編)	静岡教弘優秀賞	30万円	10万円	5編	静岡教弘優良賞	10万円	5万円	20編程度	静岡教弘奨励賞	3万円	1万円	上記以外の全ての論文
	学校部門	個人・グループ部門	奨励編数																		
静岡教弘最優秀賞	60万円	30万円	2編(各1編)																		
静岡教弘優秀賞	30万円	10万円	5編																		
静岡教弘優良賞	10万円	5万円	20編程度																		
静岡教弘奨励賞	3万円	1万円	上記以外の全ての論文																		
応募締切	8月31日(日) 静岡教弘事務局必着																				
応募問い合わせ	〒420-0856 静岡市葵区駿府町 1-12 静岡県教育会館4F 公益財団法人日本教育公務員弘済会静岡支部 TEL 054-205-5130 9:00~17:15(土・日・祝日を除く)																				



静岡教弘クイズ当選者発表

静岡教弘だよりNo.158春号の静岡教弘クイズには4,203人のご応募をいただきました。

4月13日に開幕した大阪・関西万博にはお出かけになりましたか?万博に因んだ今回のクイズの正解は、①Ado ②大屋根リング ③ポケットモンスター ④サウナ ⑤楽譜・五線譜 ⑥ドラえもん ⑦TUMTUM ⑧隈研吾 ⑨水 ⑩ネオアトム(鉄腕アトム)でした。

正解者2,830人の中から厳正な抽選の結果、右記の50人の方々に「5,000円の図書カード」を贈呈いたします。

- | | | |
|--------------|--------------|------------------|
| 石田 善正(須走小) | 西條 紗由実(舞阪小) | 竹森 恵子(静大附属島田中) |
| 入川 文洋(袖野小) | 前沢 寿成(上阿多古小) | 石川 麻子(島田商業高) |
| 曾根 佑太(大井川南小) | 松本 眞弓(熊小) | 鈴木 康太(相良高) |
| 青島 央典(高洲南小) | 野木 成憲(御殿場南中) | 吉川 拓磨(浜松江之島高) |
| 濱尾 孝徳(初倉小) | 高橋 由美(北上中) | 中村 淳(浜松東高) |
| 熊谷 圭祐(菅山小) | 石井 祐助(金岡中) | 見村 喜哉(富士市立高) |
| 城下 俊介(掛川第二小) | 齋藤 真穂(岩松中) | 佐野 麻依子(桐陽高) |
| 中嶋 将希(岩田小) | 児玉 文美(鷹岡中) | 土屋 純子(富士特支) |
| 鈴木 貴子(磐田南小) | 村松 悠矢(藤枝中) | 高橋 慎(静岡北特支南の丘分校) |
| 伊藤 雅之(竜洋北小) | 西澤 努(三ツ星学園) | 松本 あけみ(浜松聴覚特支) |
| 堀内 一生(青城小) | 川本 恵(榛原中) | 笹瀬 由樹(西部特支) |
| 住吉 眞子(山名小) | 清水 万真(菊川東中) | 本間 日和(すがぬまこども園) |
| 池谷 弘子(蒲小) | 紅林 伯彦(森中) | 吉田 頼香(裾野西幼稚園) |
| 牧田 利彦(与進小) | 太田 裕貴(豊田南中) | 中山 優佳(焼津さつき幼稚園) |
| 村上 美聡(三方原小) | 坪井 勇太(丸塚中) | 山本 五月(地頭方こども園) |
| 菅沼 優子(積志小) | 杉本 美奈(浜北北部中) | 東野 未悠(尾奈幼稚園) |
| 八幡 美和(篠原小) | 栗田 玄涼(北浜東部中) | |

8月12日(火)~18日(月)
事務局閉局いたします!

宿泊利用券の申請は、宿泊施設へ直接ご予約後、事務局に一週間前までにご連絡ください。閉局期間は、宿泊利用券の発行はできませんので、お早めにお申し出ください。